

(仮称)千葉県総合救急災害医療センター建築工事

基本設計の概要



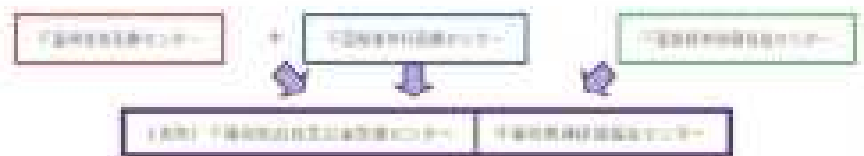
チーバくん
千葉県病院局



1. 施設計画概要

（1）施設の概要

千葉県における身体及び精神社会医療の中核になってきた両病院を先駆的に統合し、精神保健福祉センターと合築する。県内救急医療における最後の砦として、最新の医療機材を整備するとともに、合併促進者の診療対応など複合化のメリットを最大化する施設計画を行う。



【基本情報】

建築規模

一階床面積：10,000㎡（一階床床：10,000㎡、10,000㎡）

精神科床：5,000㎡（診療室・検査室：1,000㎡、後援病床3,000㎡）

病床数：想定140人（急性期病床40人、慢性期病床100人）

②精神保健福祉センター：行政施設（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条）

の設置等：病床及び職員数等第4条の台～5,000台

（2）土地利用・配置計画

計画地は海岸に面する平坦な埋立地である。用地の一部には既存の精神科医療センターがあり、既存病院を運営しながら造成、建設工事を行う。

前面道路（県道15号線）からの一般、救急等のアクセス、海側からのヘリコプターによるアクセスに配慮し明快な土地利用計画、配置計画を行う。盛り土を行い、1階レベルを海面+6.5mに設定し、津波や高潮の浸水を防ぐ計画とする。県道側に主玄関と外来部門、将来的な拡張や災害時の活動が期待できる東側に救急部門の施設配置を行う。

前面道路側に院内保育所、院外薬局を配置し、利便性を確保する。



2. 構造計画概要

(1) 構造計画方針

- 1) 耐震性能：建物の機能・規模に配慮し、大地震に遭遇した場合でも構造体を修復することなく建築物を使用できる計画とする。そのため、病院本館は基礎免震を採用することにより、耐震安全性の分類におけるⅠ類相当の耐力を確保する計画とする。
- 2) 耐風性能：建築基準法・同施行令により定められた風圧力の1.3倍の風圧力に対して、建築物の安全性を確認する。
- 3) 耐久性能：鉄筋コンクリート躯体について、「海水の作用を受けるコンクリート」として耐久性を設定する。

(2) 構造設計方針

①病院本館

- ・規模：地上4階
- ・主体構造：免震構造(基礎免震)
- ・構造種別：S C造
- ・構造形式：純ラーメン構造
- ・基礎形式：杭基礎

②防災棟

- ・規模：地上1階
- ・主体構造：耐震構造
- ・構造種別：R C造
- ・構造形式：壁式構造
- ・基礎形式：直接基礎
※液状化判定の結果により杭基礎への変更の可能性あり

③院内保育所

- ・規模：地上1階
- ・主体構造：耐震構造
- ・構造種別：木造
- ・構造形式：ラーメン構造
- ・基礎形式：直接基礎
※液状化判定の結果により杭基礎への変更の可能性あり

3. 設備計画概要

(1) 電気設備の特色

- 1) 受変電設備：6.6kV本線・予備電源2回線受電方式とし、一方が停電しても、もう一方に切り替えて受電が可能なものとする。
- 2) 発電設備：本線・予備電源ともに停電した場合を想定し、バックアップ電源として非常用発電機を計画する。点検や更新を考慮して2基設置とし、2基の合計容量で想定している電力を賄うものとする。燃料は重油とし、72時間連続運転可能な量を地下タンクへ備蓄する。
- 3) 電力貯蔵設備：手術室、ICU機器等最重要負荷については無停電電源を接続し、停電時の発電機電源への切り替え時においても無停電で使用可能とする。

(2) 機械設備計画の特色

- 1) 熱源設備：エネルギー源は、電気と都市ガス（非常時A重油）を併用し、環境に配慮した省エネシステムとするとともに、災害対策に配慮した施設とする。
- 2) 給水設備：災害時のライフラインの途絶に対し、水の備蓄として通常時の3日分の水量を確保する。
- 3) 排水設備：感染系、検査系等の特殊排水ごとに個別に処理を行う。さらに、下水道断絶時の対応として、免震ピット下部に緊急用排水槽を設け、3日分の排水が貯留可能なものとする。

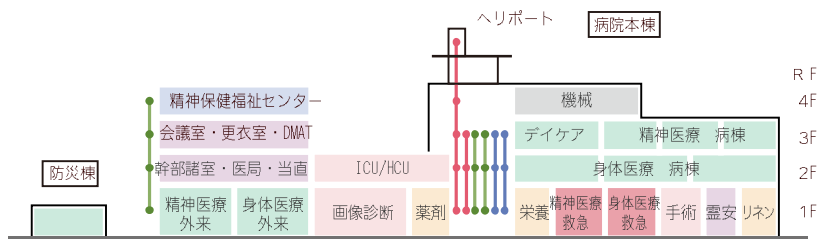
4. 建築計画概要

(1) 部門配置計画

救急部門を中心に、画像診断部門の同一フロアでの隣接など、重症患者の水平移動を重視する。生命維持装置を付けたままベット搬送が可能な大型エレベーターなど、縦動線の搬送力を強化することにより、スタッフの機動力を十分に発揮できる計画とする。

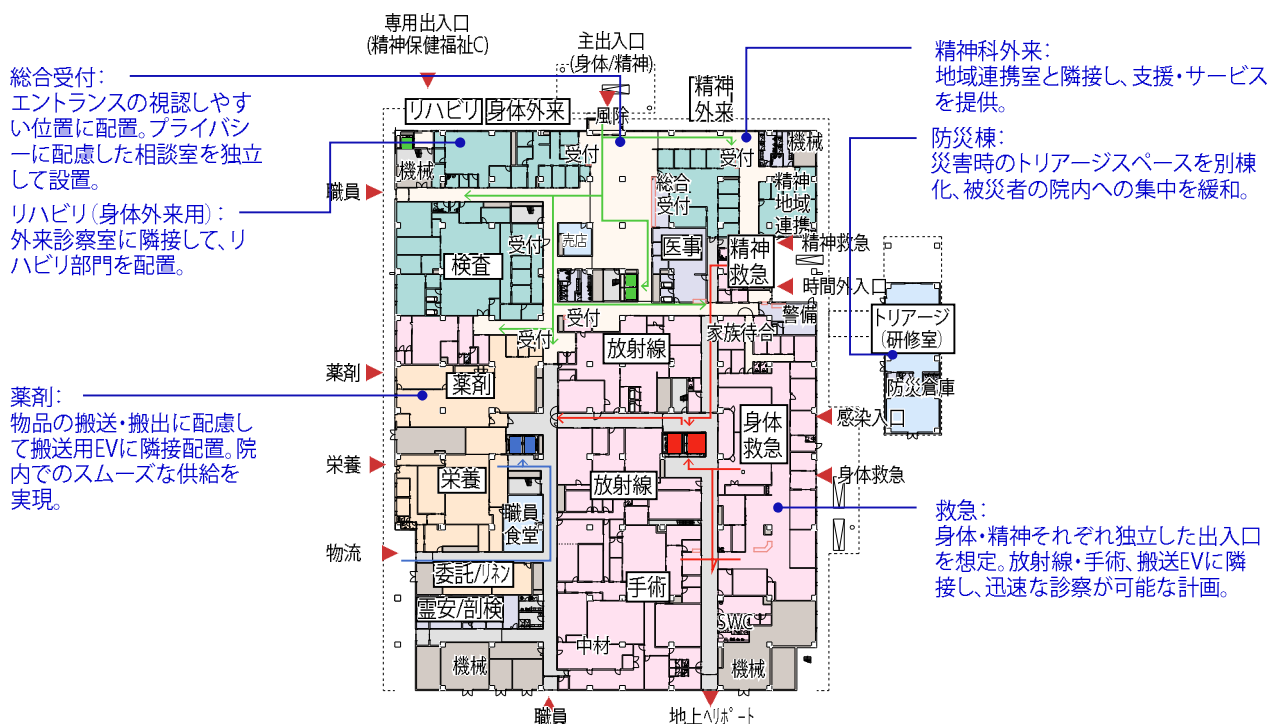
(2) 断面構成

1階に身体、精神の救急外来、一般外来、サービス部門を設置する。2階に身体科入院機能100床、3階に精神科入院機能50床を配置し、それぞれ1フロアに集約する。病態に応じたゾーニングとし、重症度に応じた転床が容易で連携しやすい計画とする。行政機関である精神保健福祉センターは4階に単独配置し、入口から専用の動線を確保し一般利用者に配慮する計画とする。

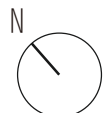


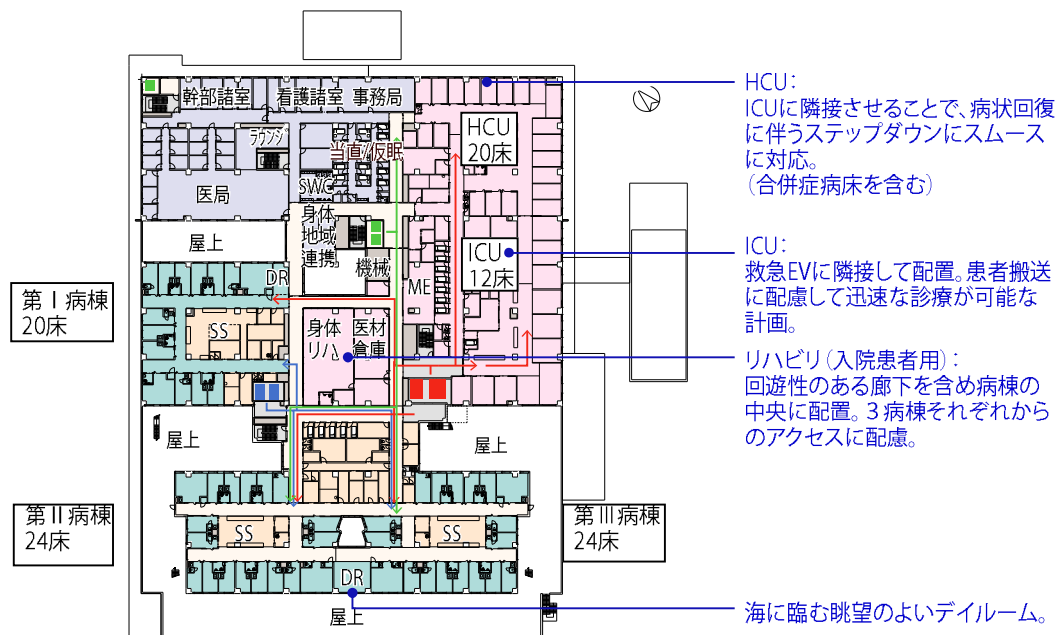
断面構成

凡例	ブロック凡例
→ 一般(外来・来院者)動線	外来部門/病棟部門
→ サービス動線	中央診療部門(手術/画像診断/検査)
→ 救急患者動線	管理部門
■ 一般用EV	供給部門
■ サービス用EV	店舗等
■ 救急用EV	機械室等
SS スタッフステーション	一般廊下
DR デイルーム	スタッフ廊下
面積	
5F: 46.63㎡	
4F: 2,260.36㎡	
3F: 4,781.59㎡	
2F: 6,100.40㎡	
1F: 7,995.36㎡ 防災棟: 276㎡	
総計: 21,460.74㎡	

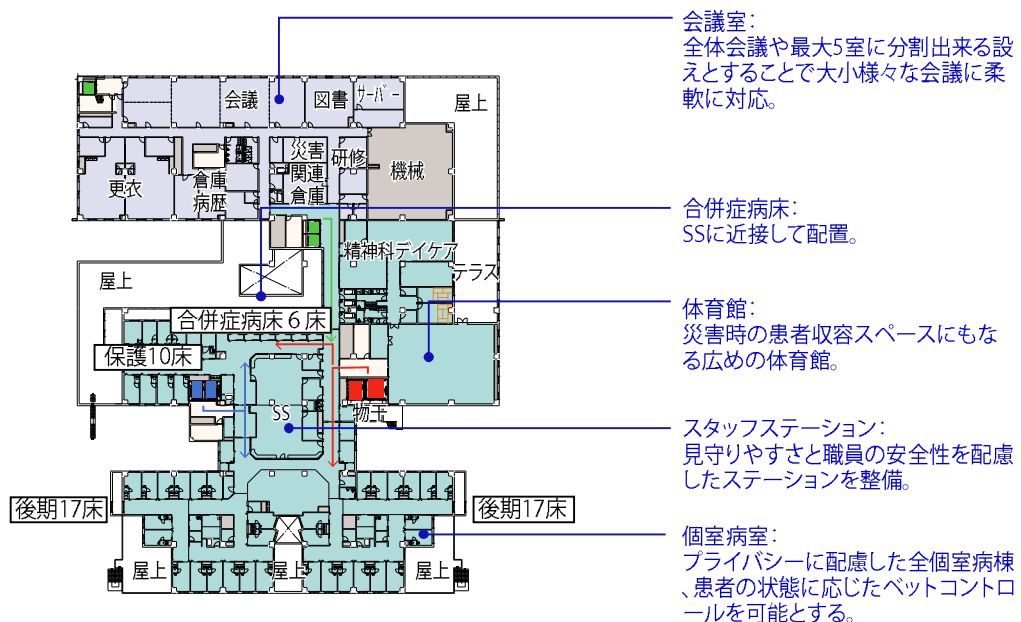


1 階

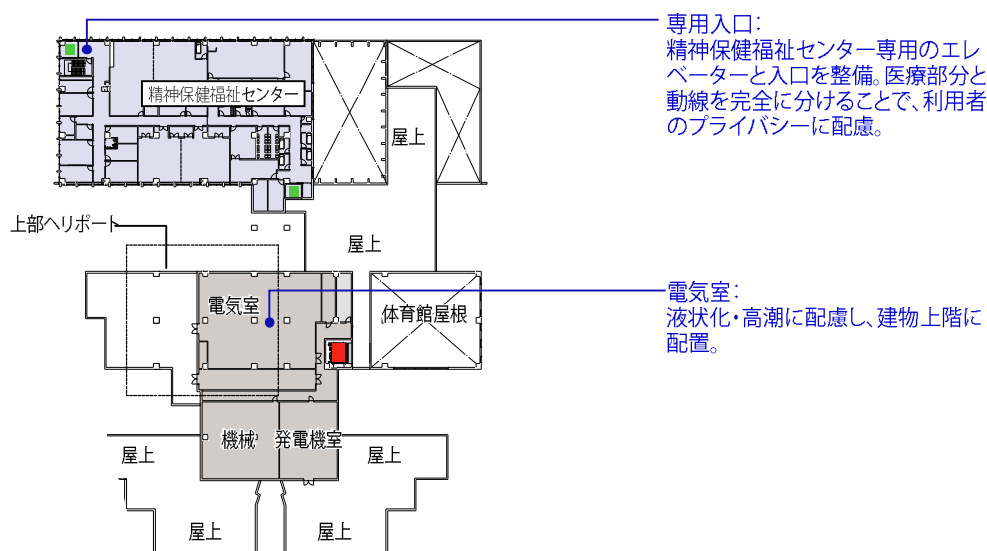




2階



3階



4階